

委員会視察報告 (1)

委員会視察報告

各常任・特別委員会及び議会運営委員会では、他団体等における先進的な取り組み内容について調査研究することを目的として、各所管事項における先進団体の行政視察を行っています。

これまでは、紙面の制約から、視察日程・視察先、テーマなどの最小限の情報しかお知らせすることができませんでしたが、平成20年からは、12月定例会の結果等について発行する市議会だよりにおいて、特集記事としてお知らせすることとしました。

本号では、平成21年に行った各委員会の視察報告について掲載します(議会運営委員会は未実施)。

総務委員会

日程・視察先

7月14日 沖縄県浦添市
7月15日 沖縄県那覇市

参加議員数 9人

報告者 企画総務委員長

山崎 英昭

沖縄県浦添市

「OSSを情報システムの基盤に採用するまでのプロセスと取り組み」

浦添市では、情報システムの効率化やセキュリティの確保などを目的として、早い時期からオープンソースとシンクライアントを積極的に導入してきた。

新システムを構築するに当たり、コンサルタントを活用して、徹底した業務分析を行い、業務プロセスの見直しを行った。これをも

とに、職員とメーカーが協同でシステムをつくり上げたことで、従来の半分以下のコストで基幹系システムの構築ができた。

この業務マニュアルとシステムを他の自治体にも公開し、協同運用を考えている。

情報システムを考える上で、大変参考になった。

「地域通貨(察度(さつと))の実証実験について」

浦添市では、平成18年6月、(財)地方自治情報センターの「地域通貨モデルシステム」の開発実証事業



那覇市での視察の様子

沖縄県那覇市

「NPO・市民活動支援について」

は各学年100人を超える学校で35人の学級編成を行っている。中学校は各学年200人を超える学校で少人数学級編成としている。

効果は、○児童のつまずきの早期発見、早期対応ができた、○複数の教師で多面的に、児童の理解を図り指導することができた、○

体育の授業で練習量が増え、技能向上が見られた、○社会科見学など、校外活動に多くの教師による引率が可能となり、安全がより確保できた、○きめ細かな指導により、基礎学力の定着で成果が出ている、などである。



松山市での視察の様子

増員の理由は、厚生労働省の調査、県の指導そして市長の判断による。

保護業務を担当ケースワーカー任せにせず、組織的に自立を支援する制度に転換することを目的に自立支援プログラムを導入した。

就労支援、在宅要介護高齢者支援、退院促進支援、ひきこもり者支援、母子養育費請求等支援、多重債務者等支援、年金受給支援の7種の自立支援プログラムがある。

愛媛県松山市

「生活保護世帯の自立支援体制」

平成21年度の人事異動により、ケースワーカーを26人増員し組織強化を図った。

環境建設委員会

日程・視察先

6月30日 北海道恵庭市
7月1日 北海道札幌市

参加議員数 9人

報告者 建設環境委員長

小幡 勝己

北海道恵庭市

「テクノパークと企業誘致・異業種交流について」

恵庭市は、産業振興などを通じて、産・学・住の高度な複合化した技術文化機能都市を目指している。市内開発により260社が創業、中でも「恵庭テクノパーク」は全国で初めて土地信託方式を採用した工業団地で、各種の補助金を活用しながら、職住近接型のリサーチパークや産業集積型のテクノパークなど、企業誘致に大きな成果を上げてきた。

異業種交流については、市内の交流グループが主体となつて独自に交流、研修会等も催し、数百家以上に広がる異業種交流・技術交流を進め、ビジネスのさらなる拡大、技術のレベルアップを図っている。

西東京市は、昔からあった大手企業の撤退、縮小により法人税収も見込めない中で、中小企業の活性化等のために十分な配慮と支援



札幌市リサイクル団地の視察の様子

が必要である。今後の取り組みに大変有意義な視察であった。

北海道札幌市

「リサイクル事業(札幌市リサイクル団地)」

札幌市が造成し、最先端の独自技術を持つ企業・団体が集結したリサイクル団地で、プラスチック等のリサイクル施設を視察した。

札幌市中沼プラスチック選別センターは、再資源化できる状態にするための施設で、選別されたプラスチックは、油化施設で油などにリサイクルされる。

また、ペットボトルフレック化施設では、着色物などを機械選別で除去し、無着色ボトルの粉砕後、水洗脱して白色のフレックにする。このフレックはペトボトルシート化施設に運ばれ、シートに成形・巻取り後、食品のパック(卵パック)等に加工される。これだけの規模の施設は、全国的に類を見ないという。

札幌市は、環境と調和したまちづくり建設のため、この7月1日からごみの有料化が開始された。

西東京市においても、ごみの有料化、戸別収集が実施され、検証も必要である。今こそ真剣にリサイクルによる長期的施策が必要であり、これからの事業にも大いに参考になる大変充実した視察であった。

文教厚生委員会

日程・視察先

10月15日 愛媛県新居浜市
10月16日 愛媛県松山市

参加議員数 10人

報告者 文教厚生委員長

安斉 慎一郎

愛媛県新居浜市

「夢広がる学校づくり推進事業」

地域社会の実態に応じて学校、地域、家庭が三位一体で取り組む、5年目の事業であり、「地域に学校をどう開いていくか」を目的としている。

事業内容は、地域の歴史や特性を生かしながら各学校で事業計画を作成し、プレゼンテーションにより選定している。計画は学校が原案を作成するもの、地域

から事業展開されるものなど、地域性により異なる。市の単独事業で予算は400万円、プレゼンテーションの結果により、1校50万円を限度に各学校に配分している。不足分は学校管理費やPTA費から補充してもらおう。近年の特色としては、「エコ活動」として

の「グリーンカーテン事業」や「ごみの飼料化」等がある。「35人学級の実施状況とその効果」

小学校は第1学年のすべて、2学年から6学年まで